

「文化を活かし継承する」

全国には、先人の知恵とその地で育った歴史文化を大切に守り、これを活かして後世に伝えようとしている地域があります。湯浅も、その素晴らしい歴史文化が息づく町並みの中で、今も人々が生活を送る、数少ない町の一つです。そしてその価値が認められ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

選定を受けてから、古い町並みの見学や、地域住民との交流を目的に散策される方が多くなりました。この町を訪れた方々に感想を聞くと、「湯浅の人は親切であたたかい。町並みも素晴らしく、すてきな町だ」と評価してくれます。

しかし、湯浅で育った私たちは案外、この町の良さを知り、それを後世に伝えていくことに関心が高いとはいえません。それぞれの地域の文化について学び、活かすことが時代の流れの中で薄れてきているように感じている方々も多いのではないのでしょうか。



最近では観光客も多く、湯浅の良さを我々に評価して帰ってくれます。それは、人と人との交流であり、自分達が生まれ育った町の良さを再認識する機会となります。

これが「文化を活かし伝える」ことです。

最近、湯浅の歴史や文化について関心を持つ小中学生が多くなりました。町並みを案内してまわり、歴史の古さ、町並みの素晴らしさ、昔の偉人の活躍などを知ると「そんなことがあったのか」と感動してくれます。たとえ今は歴史に詳しくなくても、昔の生活の様子を伝えることは、経験者である私たちならできるはずです。誰もが自分の町に関心を持ち、興味を持つ。そして交流を通じて、後世に引き継いでいくことが「文化を活かし継承していく」ことになるのではないのでしょうか。

北浜町保存協議会
会長 半邊 宗五

湯浅伝建地区保存協議会

「瓦版」とは、江戸時代、ニュース速報など時事性の高いものを掲載した、現代の新聞のルーツとなったものです。まちなみ瓦版には、皆様の身近な話題を掲載していきたいと思ひます。

編集委員
北町区 : 楠山 吉雄
北浜町区 : 半邊 宗五
北中町区 : 妻木 禎子
北鍛冶町区 : 齋藤 春太郎

まちなみ瓦版

平成22年9月1日

創刊号

発行:湯浅伝建地区保存協議会

発行責任者:木下 智之

まちなみ瓦版発行に際して

国の重要伝統的建造物群保存地区に湯浅が選定されて、3年が経過していますが、保存地区に、お住まいの方々のなかには、「伝建って、ようわからん?」とか、「いろんなことを、やってるみたいやけど、なにをやっているんやろ?」という声を耳にします。

そこで、今回、保存協議会の活動を伝建地区のみなさま方に知っていただくために、活動の報告を中心とした「まちなみ瓦版」を発行することになりました。

各町から、一人ずつ編集委員を選出していただき、瓦版を発行していきたいと思っております。ただ、保存地区にお住まいの皆様方の瓦版ですので、「こんなこといっぺん取り上げて」とか「こんなことわからん?」とかの、ご意見やご要望があれば、各町の編集委員まで、ご連絡ください。



湯浅伝建地区保存協議会
会長 木下 智之

知って
おこう

伝建制度ってなに?

伝統的建造物群保存地区の制度(以下、伝建制度)は、市町村の主体性を尊重し、都市計画(まちづくり)と連携しながら、歴史的な町並みの保存と整備を行うものです。

戦後の国土開発や、高度成長に伴う無秩序な開発の中で、民家などの伝統的な建物が急速に姿を消し、歴史的な市街地や景観が失われていきました。

この状況に対する危機感が募り、みんながなつかしいと思う景観を大事にしながらまちづくりをすすめるという市民運動が各地で起こりました。これに呼応して、市町村が独自に条例を制定し、地域の歴史的な風致を保護する取り組みがはじまりました。

「保存」を通して地区の生活や生業に新たな息吹を取り込もう。こうした住民の意欲と地元自治体の取り組みを、国が後押しするために設けられたのが、伝建制度です。

今日まで、この制度により、町並み保存を進め、個性的な歴史的景観を活かして活気を取り戻した地区は全国にたくさんあります。



伝

伝統的建造物の外観を維持又は復原するための工事を修理といいますが、伝統的建造物の修理は必要な経費に対して80%



上：修理前
下：修理後



修

景とは、伝統的建造物以外の建築物などを工事する際に、配置や外観を湯浅の伝統的様式の特徴に合致させ、町並みに調和させることが出来ます。



上：修景前
下：修景後



とです。必要な経費に対し60%の補助を受けることが出来ます。

自

主防災組織の取り組みや防火水槽など、各地区に求められる防災対策を計画的に進めています。



説

明板・標識等の設置を通じて、保存地区の位置や価値、範囲をわかりやすく伝えるため、活動を進めています。



まちづくりの取り組み

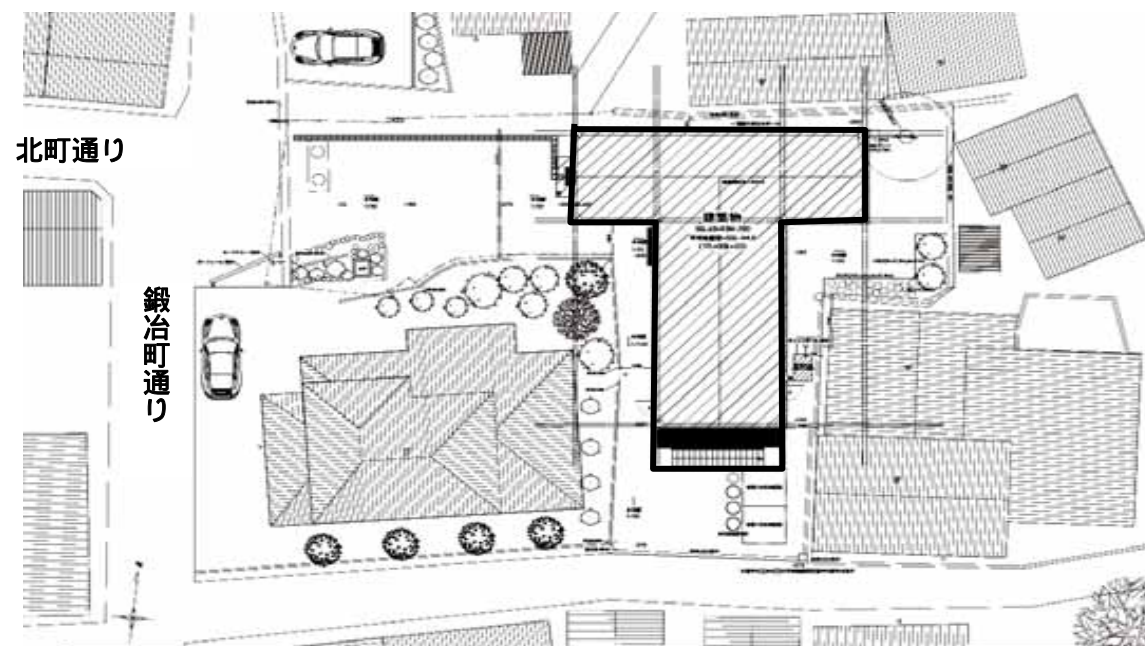
町からのお知らせ

北の町老人憩の家建替工事が始まりました

近く予想される東南海・南海地震などによる大地震から、住民を守る災害時一次避難所としても利用できるようにするため、8月から北の町老人憩の家建替工事が始まりました。工事車両などが多数出入りするため、付近の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

概要

- ・鉄骨造2階建 のべ床面積276.8㎡
- ・1階：多目的ホール（憩いの間）、多目的トイレ、倉庫など
- ・2階：多目的スペース（災害時一次避難所）、避難デッキ、湯沸室、トイレなど



北の町老人憩の家建替工事 Q & A

- Q** 工事期間はいつまでなの？
A 平成23年2月末までを予定しています。
- Q** 工事期間中、仮設トイレは使えるの？
A 使用できません。来町者の方々には、北町ふれあいギャラリーや甚風呂などのトイレをすすめてください。
- Q** 災害時には何人が避難できるの？
A 約140人です。

詳しいお問合せ先

役場総務課 63-2525